

感電したばい!!

潤徳小学校の放課後学童保育「どんぐり楽校」で、九州電気保安協会熊本支部の熊本事業所より電気に関する出前教室がありました。教室では「電気の性質」や「カミナリはなぜ起きるのか?」などを学んだあと、感電体感装置で実際に電気を感じる体験をしました。電気を通すバーに指を置き、子どもたちはおそろおそろ電圧を上げるつまみをまわっていました。電気が流れるのを感じると、「チクッとしたー!!」や「痛かったー!!」など興奮した様子で話していました。中にはつまみをまわした電圧の高さを自慢したり、講師の保安協会の中村さんに「何で痛く感じる数字が違うんですか?」などと質問をして、興味津々な様子でした。



全国小学生陸上競技交流大会に出場します!

6月25日県民総合運動公園陸上競技場で行われた第33回全国小学生陸上競技交流大会熊本県予選会(日清食品カップ)にてチーム「T&F蘇陽」が出場し、下記のとりの成績を残されました。6年男子100mにて見事優勝した興梠優哉くん(蘇陽小)は8月19日に神奈川県横浜市の日産スタジアムで行われる全国大会に出場します。

出場者 男子8名、女子1名

～入賞者～

6年男子 100m 優勝 興梠優哉

女子走り幅跳び 8位 高野藍沙

男子4×100mリレー 5位

(春木智裕・興梠優哉・後藤悠希・春木達裕)



九州大会、全国大会に行ってきます!!

7月31日、矢部ジュニアバレーボールの男子チームの選手たちが8月に大分県で行われる「全九州小学生バレーボール男女優勝大会」と3月に群馬県で行われる「全国スポーツ少年団交流大会」への出場報告を町長と教育長へ行いました。

現在、男子8名、女子10名という、チームを編成できるギリギリの人数ですが、一生懸命プレーしてくることを、一人ひとり「頑張ります!」という言葉に込めて町長と教育長へ伝えました。



交通安全母の会による浜美荘訪問

7月5日、「交通安全母の会」のメンバーが、浜美荘の入所者に「笑顔と元気」を届けに訪問しました。同会は、児童の登校見守りや学習応援、高齢者施設への訪問活動などの社会活動をされています。

この日は、入居者の方々と一緒に、三味線に合わせて歌ったり踊ったりと盛りだくさんの内容でしたが、特に「バナナの叩き売り」の口上では、大歓声があがっていました。



中島小学校の児童が文化財について学びました!

7月7日、中島小学校5、6年生の児童が、県の出前講座を利用し、北中島西原遺跡から出土した土器や鏡をはじめ、縄文時代や弥生時代の文化財について学びました。

児童は、石さじや石包丁を実際に手にとって観察し、いつの時代のものか、また、道具の用途について、班ごとに真剣に話し合っていました。

その後児童たちは、祭祀用具や権力の象徴としても使われていた鏡を実際に作り、大昔の人々の暮らしに思いを馳せていました。



第17回関西山都会総会で支援金が贈呈されました。

7月9日、山都町出身で関西地方に在住のみなさんで組織されている「関西山都会」の第17回総会が開催されました。総会には60名の会員の方が参加され、西山昭三会長より会員減少に伴う勧誘のお願いと、ふるさと寄附などを活用したさらなる支援について挨拶がありました。山都町特産品の販売会では、懐かしそうに品物を手に取り、お茶やお菓子などたくさん買い求められていました。総会後の懇親会は、終始和やかな雰囲気、会員の皆さまから、たくさんの災害支援募金が行われ、西山会長から岡本副町長へ贈呈されました。



支援金の贈呈をされる西山昭三会長(左)

山都みらい保育園の園庭などが完成しました!

山都みらい保育園で、園庭および外溝工事など保育園に係る全ての工事が終了し、7月11日、竣工式と落成式が行われ、子どもたちが元気な歌声を披露してくれました。

約1,420㎡ある園庭内には、すべり台・ジャングルジムなどの遊具や、みんなで一緒に遊べる広い砂場などが設置されています。園庭では、先に完成した園舎に通う園児達がのびのびと走り回って遊び、元気な声が響いていました。



おっきいトマトをもらったよ!

7月18日に、JA阿蘇南部トマト部会蘇陽支部から、蘇陽地区の3つの保育園にトマトがプレゼントされました。同部会は、山都町蘇陽地区、高森町、南阿蘇村のトマト農家で構成され、毎年、南阿蘇地域の全ての保育園へトマトの贈呈を行っています。

この日は、二宮支部長より二瀬本保育園の西史華ちゃんと工藤捺姫ちゃんへ手渡され、箱に入ったたくさんの大きなトマトをみて嬉しそうにしていました。



大豆の種まきは食べながらできるね!

7月11日、蘇陽南小の3年生が大豆の植え付けを行いました。毎年行われているこの行事は、地区の老人会の会長らが子ども達に種まきから収穫までを指導して行うもので、この日は12人の児童が大豆の種まきにチャレンジしました。

普段食べている食用の大豆をそのまま種として植えるため、植え終わった子どもの中には、大豆を食べる子どももいました。植え付けが完了するとカラスやハトから大豆を守るため紐が張られ、その様子を子ども達は興味深そうに見学していました。

